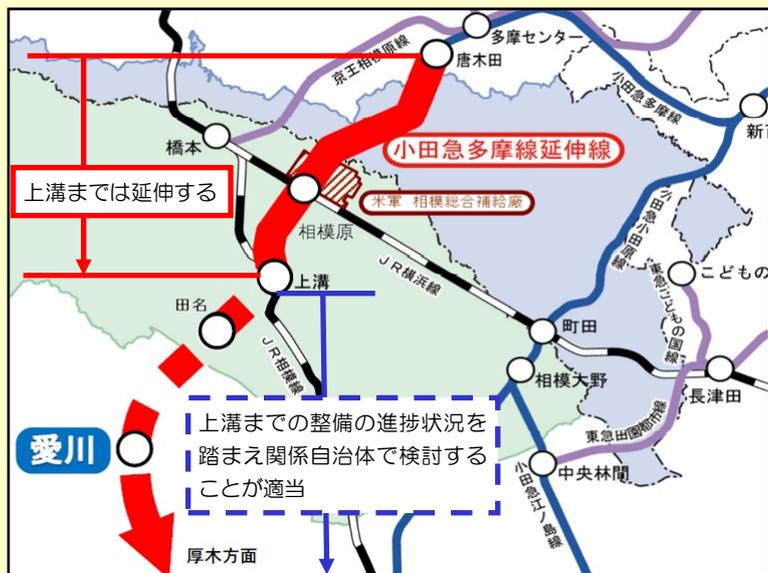


# 愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第6号

平成29年3月発行 発行/愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集/愛川町企画政策課

## 延伸の必要性を届け、夢を現実に！



平成28年4月20日、国の交通政策審議会が、「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」を答申しました。答申では、概ね15年後を念頭に置いた「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」が示され、小田急多摩線の延伸は、都心部とのアクセス利便性の向上が認められ、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資する意義のあるプロジェクトとされました。

答申に位置づけられたプロジェクトには、それぞれ意義や課題が示され

ており、示された課題の解決を経て、事業化が進められます。多摩線の延伸は、関係自治体等において、採算性の確保に必要な需要の創出につながる沿線開発等の取組みを着実に進めた上で、事業計画の十分な検討を行うことが望ましいと示され、関係地方公共団体において更なる延伸を検討する場合には、上溝までの整備の進捗状況を踏まえつつ行うことが適当とされました。

これらを踏まえ、本協議会では、上溝までの延伸に関する情報収集を図るとともに、延伸の必要性を町民の皆さんや関係機関に届けました。



勤労祭野外フェスティバルでPR



ふるさとまつりでポスター展を開催



ペーパークラフト作成体験



ふるさとまつりでPR

沿線情報 答申で延伸先とされた「上溝」において、地域住民を中心とした延伸推進組織が発足（H29.3月）

## 関係機関に要望活動を展開！！

小田急多摩線の延伸に向けて、町田市・相模原市・愛川町の住民団体合同で要望活動を実施しました。

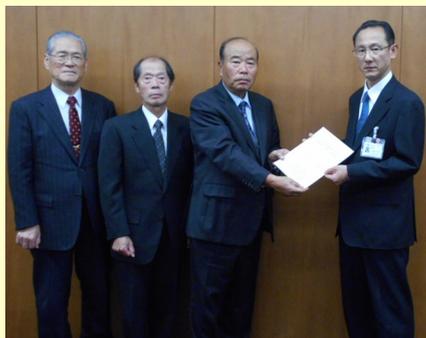
平成28年11月14日に、小田急電鉄株式会社・相模原市・町田市、平成29年1月19日には、神奈川県に対して要望書を提出し、多摩線の早期実現を目指した協力を強く要望しました。

これに対して、相模原市長から、「リニア中央新幹線が開業する2027年を目標に、まちづくりの計画を策定した。その中で、多摩線の延伸も取り組んでいく。」、町田副市長からは、「国の答申を受け、採算性確保の課題解決に向けて、調査等に取り組む会議体を相模原市等と組織した。引き続き、延伸の実現に向け取り組んでいく。」との回答をいただきました。

また、2月9日には、本協議会単独で愛川町と愛川町議会に対し要望活動を実施しました。今後も、関係団体と連携しながら、要望活動を展開してまいります。



相模原市への要望活動



町田市への要望活動

## 小田急電鉄が複々線の完成効果を発表！

小田急電鉄株式会社では、輸送サービスの抜本的な改善策として、東北沢～和泉多摩川間(10.4km)の複々線化(上下線を各2本ずつ、計4本の線路とする事業)を東京都の連続立体交差事業と一体的に進めています。既に世田谷代田～和泉多摩川間(8.8km)については工事が完成し複々線による運転を行っており、残る東北沢～世田谷代田間(1.6km)について、平成29年度の複々線完成、平成30年度の事業完了を目指し、現在工事を進めています。

このほど、ラッシュ時間帯における混雑緩和や所要時間の短縮など、複々線完成による輸送改善効果が発表されましたので、その概要についてお知らせします。

### 複々線完成によるラッシュ時間帯の輸送改善効果

#### 混雑緩和

複々線化により列車の増便が可能となるため、現在より混雑率が改善され、快適な輸送環境となります。

#### 時間短縮

各駅停車と、急行や準急列車が別の線路を走ることになり、所要時間が短縮されます。

(参考) 平日の8時30分頃に新宿へ到着する列車の所要時間の変化

・海老名駅：(平成28年4月現在)60分⇒(複々線完成後)51分【9分の短縮見込み】

## 愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体(43団体)

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区、

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地工業会、(一財)繊維産業会、(公社)厚木法人会愛川支部、(一社)厚木青色申告会愛川地区会、愛川町商店会連合会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、(一社)愛川町建設業協会、KAA建築協会愛川、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、(一社)神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合《順不同》